

令和2年度 第1回島田宿大井川川越遺跡整備委員会 意見及び回答

報告事項1 令和元年度 川越遺跡整備事業について		
委員	ご意見・ご指摘・感想等	回答
渡辺委員	和菓子バルと関連事業について盛況であったようであるが、内容を詳しく知りたい。	文化資源活用課が実施した「和菓子バル」は、川越遺跡を活用するイベントを通じて、旧東海道宿場町の文化と魅力を発信し、来訪人口の拡大を図ったもの。博物館課や市内の団体等と下記の点において連動することで、効果的な情報発信を行うとともに、まちづくりや教育にも寄与した。 ア 和菓子販売（島田菓子組合ほか） イ 島田商業高校との連携（イベントチラシ作成、販売体験など） ウ 市内団体との連携（しまだきものさんぽの会） エ 他イベントとの連携（JRさわやかウォーキング） オ 農林課・島田茶振興協会との連携（緑茶の呈茶、販売） カ 番宿等の活用（和菓子の販売、休憩場所、島商呈茶サービス、昔のあそび） ケ 博物館課との連携（「企画展と同時開催、開催日調整、チラシ等のPR内容調整、スタンプラリー、ガラポン抽選の連動、諏訪原城グッズ等の販売連動） コ 製菓リレーの実施（主催：オリンピック・パラリンピック推進室） サ 和菓子まっぷの作成（令和元年度：2,000部作成）
高瀬委員	さわやかウォーキング2000名の参加があった由、継続されるとよいですね	
報告事項2 『島田宿大井川川越遺跡整備基本計画』について		
	ご意見・ご指摘・感想等	回答
海道委員	川越街道沿いに空き家が増加とありますが、具体的に何戸の空き家ですか。また所有者の利用や処分、賃貸等の意向は調査されていますか。していないならぜひ実施してください。	空き家6軒。うち4軒から買い上げ希望あり。 意向調査は実施済みです。

報告事項3 令和2年度 川越し街道賑わい創出事業について		
	ご意見・ご指摘・感想等	回答
高瀬委員	空き家、旧桜井家住宅、そば屋などのリノベーション大賛成です。にぎわいのある川越遺跡となることを祈ります。	
海道委員	「活用イメージ図」の川越茶屋の改装、分館のレストラン設置、空き家リノベーション、公園の活用はいずれもよい提案と思います。これらは「基本計画」のP76整備スケジュールに明示されていませんが、ぜひ具体化の取り組みを期待しています。	
佐藤委員	<p>『整備基本計画』で旧桜井家住宅について「文化体験プログラム・イベント等への活用を図る」(P61)とあるが、委員会資料には「レストラン設置」とあり、『計画書』には、「史跡と島田市博物館分館の関係が来訪者には分かりにくい。分館の役割や位置づけ、博物館本体との連携、来訪者へのアプローチの仕方について再検討する」とある。まず、その点を議論した上で、イベントのあり方やレストランの設置などを考えていくべきではないか。</p> <p>(中略) コンサルティングの与条件としては、「史跡の構成要素」(『国指定史跡島田宿大井川川越遺跡保存管理計画』(平成27年3月))はもちろん、指定地外であっても、「史跡の価値と密接に関係する諸要素」として分類されているものがあること、本史跡は「歴史的町並み景観・修景に配慮した遺跡」であるという価値をもっており、全体のたたずまいが重要であることなどを十分踏まえる必要があることを説明しておく必要がある。コンサルタントには、対象地が江戸時代から今日まで何があった場所なのかの情報を提供する必要がある。</p> <p>なお、賑わいを創出するというに反対ではないが、『計画書』を踏まえて考えていくべきだと思う。</p>	博物館分館は江戸時代の川越しと直接的なつながりを示す遺構や資料が残っていないため、明治期の素封家の住宅として位置づけ、保存と活用を図っていきたいと思います。コンサルタントには保存管理計画や整備基本計画のほか、これまでの委員の先生方からのご意見を踏まえ史跡の価値を守りながら、取り組むよう働きかけます。

佐藤委員	<p>委員会資料には「観光客の滞在時間が短い」との指摘があります。上記『計画書』の整理と合わせ考えると、以下のように論点を整理できると私は考えています。</p> <p>①「車が多くて落ち着かない」との感想をどのように解決していくか。</p> <p>②大井川の川越遺跡であるのに、川との関係が切断されていることをどのように解消していくか。</p> <p>③復元建物について役割の分担をある程度考えてきた（いる）ようであるが、見学者にとっての「発見」「感動」を生み出すようなものになっていないのでは。</p> <p>④休憩施設をどのようにつくっていくか。</p> <p>⑤イベントをどのように展開していくか。</p> <p>⑥本館ミュージアムショップのあり方など改善すべき点はないか。</p>	<p>①については新東海製紙(株)工場の塀沿いの道路の整備をすすめて車両の通行を減らし、通行規制を含めた検討をしていきたいと思えます。</p> <p>②大井川の堤防道路で川越しの様子を再現したVR映像をスマートフォンで見られるようにするなどの整備を考えております。</p> <p>③復元家屋での具体的な展示については、今後、委員の皆様にもアドバイスを賜りながら検討していきます。</p> <p>④番宿の活用方法に昼食会場としての利用を整備基本計画にも盛り込んでおり、仲間の宿や三番宿などをそうした使い方もしていくことを考えています。</p> <p>⑤年4回の博物館無料開放日を中心にイベントを開催していく予定で、前回好評だった和菓子バールも引き続き実施し、まちなかへの回遊にもつなげる企画を実施していきたいと考えています。</p> <p>⑥博物館のミュージアムショップについては、博物館のリニューアルを次年度から検討していく予定で、具体的にはその中で考えていきます。</p>
松井委員	<p>今回も賑わいの話があったが、我々の耳に入ったのが、新聞にでてからでありました。住民にはその前にニュースが届くよう配慮願います。</p>	<p>地元自治会役員への説明が終わり、地元説明会の日程が確定したところで、新聞報道が出てしまい、申し訳ありませんでした。以後、気を付けます。</p>
協議事項1 令和2年度 川越遺跡整備事業について		
	ご意見・ご指摘・感想等	回答
高瀬委員	<p>立合宿跡の発掘調査で元位置を知るといい成果があがることを願っております。</p>	
佐藤委員	<p>「立合宿の復元整備の可能性の有無」を発掘調査の目的とされていますが、「立合宿の建物を復元整備するための調査」とすべきだと思います。</p> <p>「並木敷跡の遺構調査」のほうも、遺構どうのではなく、地籍図から並木敷が存在したことは明らかですから、そこを今後どうするのかの議論が必要だと思います。極論すれば、発掘調査をせずとも整備の計画は立てられるのではないのでしょうか。</p> <p>川会所の移築復元に必要なデータの解析・収集に期待します。</p> <p>鞆台越しの聞き取り調査については大賛成です。どのような形で成果を発表するのか検討しておくべきだと思います。</p>	<p>立合宿の発掘調査については名称を変更します。</p> <p>並木敷については別図並木敷復元イメージ図のような整備を考えております。</p>

協議事項 2 サイン整備について		
	ご意見・ご指摘・感想等	回答
渡辺委員	東海道道標は昔のモノと間違えられないものを作る。もしくは、材質をハリボテのようなものにして逆に本物らしく見せる。この両方について再検討を要す。	東海道道標について設置場所、材質等について再度検討します。
高瀬委員	サイン案ですが、上の1,2案は伝統的な形でいいと思いますが、3は現代的な形であり、サイン全体の統一感がありません。立てる場所にもよるのでしょうか、一考を要するのでは、と思いました。	3についてはせぎ跡前の設置を考えています。高さのあるものを設置した場合、対象遺構が見ずらくなるため、高さを低く予定です。個々のサイン整備についてデザイン、材質等を再度協議し、委員会へ提案したいと考えています。
海道委員	川越遺跡の東西入口に「川越遺跡」の分かりやすいサイン掲示したかどうか。できれば、県道島田吉田線にも誘導サインを設置するとよいと思います。ワークショップの意見「基本計画」P25にもありますが、新東海製紙に協力依頼し、外壁に何らかのデザインがされることを望みます。	東の入口が未設置であり、設置場所を探している。場合によっては指定地外になるかもしれない。県道島田吉田線の誘導サインの設置についても道路管理者と協議していきたいと思います。また、新東海製紙の外壁についても会社側と協議していきたい。
佐藤委員	多言語表記について考えるべきではないでしょうか。日本で唯一史跡に指定されている川越しの遺跡ですし、国民がすべて知っている大井川の川越しの遺跡ですから、多言語で紹介していくべきだと思います。	多言語表記については英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語を考えています。
荒井委員	掲示板については、川越遺跡にふさわしい木製の説明板が良いかと思えます。番宿などを写真に写したところにステンレス製掲示板が写ると川越し時代の雰囲気か・・・と思います。木製でお願いいたします。	改めて協議させていただきます。